

おおとり会だより

ごあいさつ



中国から伝わった四文字熟語に、日常的にもよく利用されている「起承転結」があります。このたび静岡県立大学の四代目学長として、就任することが決定したとき最初に頭に浮かんだ言葉でありました。18年前に静岡薬科大学、静岡女子大学、静岡女子短期大学の県立3大学が、現在の谷田のキャンパスに改組統合され、あわせて新学部が増設され、新たに静岡県立大学として開学して、早くも来年は20年という節目の年を迎えることになりました。

初代の内閣学長は、新しく切り開かれたキャンパスに現在の県立大学の礎を築かれ、まさにこの「起」に当たる時代を過ごされました。二代目学長の星学長は、環境科学研究所、最後の学部である看護学部をそれぞれ整備され、県立大学を総合大学として継「承」発展されました。本年の3月まで学長を務められた廣部学長は、ご専門の強みも生かされて、県立大学の研究活動を飛躍的に発展させられ、21世紀COEプログラムに選定される陣頭指揮を執られ、その成果は着実に進展しているところであります。文字どおり「転」に相当する県立大学が大いに展開し、発展してきた状況そのものの活躍をされました。このような三代にわたる名学長の後を受け、四代目は起承転結の「結」に当たるわけで、どのような結末を迎えるのか、大いなる不安に悩まされているところであります。

静岡県立大学学長

西垣 克

最後の「結」という文字は、結ぶという意味もあり、古い体制を新しいシステムに結び直すとも解釈できるのであります。中世のヨーロッパに始まったとされる大学という高等教育機関も、社会に存在する一組織として、存在する社会環境の変化に応じて、その時代が要請する役割や機能にシなやかに対応していく必要性も求められています。そこで、この「結」は新しい21世紀の大学を目指した、自己改革のつなぎ目として存在する重要な時期と考えられるのです。人類の歴史の中で20世紀は科学の時代と評されていますが、続く21世紀は精神や心の時代ないしは思索の時代と言われています。ここに、大学の使命を大いに発揮できる機会があるので

す。大学が自立した経営を行うためには、構成員が大学人として自覚的に大学の有する固有の機能を十分に発揮できることが肝要です。このための環境整備こそが、学長の職責と考えています。県立大学という位置付けは、広く県民がその存在を誇りに思う組織でありたいのです。開学以来20年の歳月を経て、当時より変化した学問領域の変化に対応するためには、老朽化や狭隘な教育環境の整備が急務です。学生のキャンパスライフのQOLをいかにして向上させるかが、県立大学の「結」を担当する学長としての使命であります。

ボランティアサークルこんぺいとう

2002年3月に、メンバーの一人が静岡県難病団体連絡協議会のボランティアに参加したことをきっかけに発足し、現在ボランティアセンターやてんかん協会、養護学校などからの依頼を受け活動している。



平成16年度、青少年健全育成強調月間静岡県大会・青少年団体の部において表彰された。

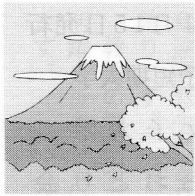
準硬式野球部



平成16年度、静岡県準硬式野球連盟主催、秋季リーグ戦において全勝優勝し、13年ぶりの快挙を成し遂げた。

平成十七年度『おおとり会賞』は、左記の二団体が選出され、昨年四月二〇日に行われた『平成17年度開学記念行事』の折に、西垣学長から表彰されました。

はばたき寄金



心のふるさとをめぐりて

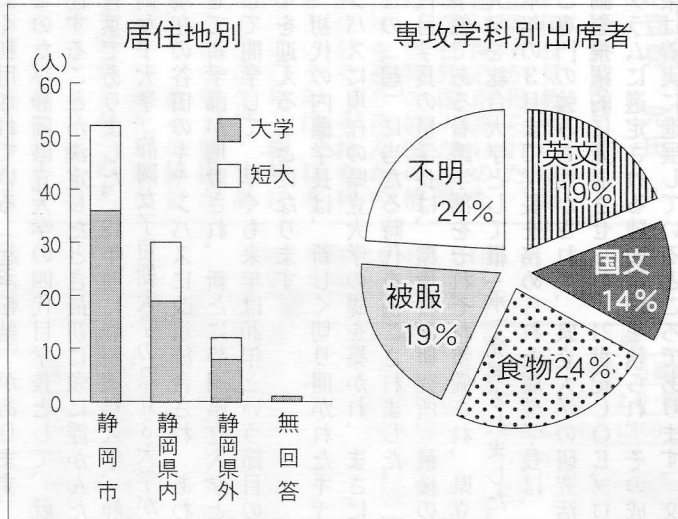


—平成17年度おおとり会総会 アンケートより—

「おおとり会」を、より良いものにしていく為に、「総会に関するアンケート」を、今年度総会の場にてお願いしました。アンケート回答者は93名でした。

総会開催場所の希望

- ・県大がよい、県大で開催する事に意義がある。
- ・県大に来るのが楽しみ
- ・遠方の同窓生が参加しやすいように、静岡駅周辺のホテル
- ・数年に一度は静岡以外の駅周辺



今年度参加者の声

- ・伊豆見教授の講演「最近の朝鮮半島情勢と日本」は、タイムリーであり、興味深く、有意義だった。今まで認識不足だった朝鮮半島・アジア情勢のことが理解できた。
- ・同窓生以外の人達、若い人達に伝えたい内容であり、伊豆見教授を誇りに思う。
- ・同窓会が盛大に継続していることが嬉しい。
- ・懐かしい先生方のお顔が拝見できて嬉しかった。
- ・「総会のしおり」に講演内容を書く「メモ欄」をつけてほしかった。
- ・経費節減のためにも、総会案内をメールで送付したら……。

今までに開催した催し物

- ・三宅右近氏一行による『狂言』
 - ・美尾洋香トークコンサート(ヴァイオリン)
 - ・静岡邦友会演奏(尺八と箏の小編成)
 - ・蔭山昌弘氏による講演
「子どもたちに輝く目を」
 - ・蒔田和子氏による講演
「食生活と文化、健康」
 - ・瀨名秀明氏による講演
「科学と小説の楽しさを語る」
 - ・アカペラライブ(ザクレセント・クラン)
 - ・二胡コンサート(林雲氏・樂秉奇氏)
 - ・長谷川博氏による講演
「復活の風に乗るアホウドリ」
- 等々

同窓会運営費について

前年の総会には、会場に入れるかしらと心配の聲が上がる程多くの方が参加くださいました。伊豆見先生の講演ということも希望者が多かったことと思いますが、これを機に今年も多くの方に参加いただき旧交を温めていただけたらと思います。総会に参加してくださった方に負担をかけないということから会費のほとんどを総会終了後の懇親会経費に当てています。

おおとり会の今後の運営費についてアンケートの結果、収入源は、「基金」と「年会費徴収」が支持されています。「基金」で運営ができることは大きな自慢ですから、今しばらくはこのまま続けるつもりです。一年一千円位の計算で、今年も多くの方に協力くださるようお願い致します。

会長 大石 邦枝

催し物の希望

- ① 内容について
 - ・同窓生の年齢を考慮して健康・老人問題に関する講演
 - ・ミニコンサート・落語
 - ・アトラクション・パフォーマンス
 - ・現役学生との繋がりある催し物
 - ・体を動かし皆が参加できるもの
 - ・農と食、農政問題に関する講演
- ② 講師について
 - ・活躍している同窓生の研究・活動報告
 - ・同窓生による狂言・英語劇・合唱
 - ・中央で活躍している人・時代に沿った人の講演

この頃のこと

被服学科 (短大一回卒)

竹澤好美



時の過ぎるのは早いという思いを実感しております。その瞬間瞬間を精一杯に過ごしたい、自分なりに充実した時間を持ちたいという七十三歳の今です。体力的には衰えを感じ、腰が痛い膝も痛い、物忘れが多く手帳に頼る等なんとも情けない思いです。しかし脚を引きずりながら気持はあちこちと飛び廻っています。残りの時を何かの形でほんの少しでも人のお役に立てたら有り難い。そこに生き甲斐を感じる事が出来ると思っています。

戸隠の「ごだま」

英文学科 (短大九回卒)

山本君代

卒業して四十五年になる。この頃は「おおとり会」の総会を心待ちにして出掛けることが多い。だが、物足りなさをぬぐい去ることができない。出席する同期の顔ぶれがごく限られているからだ。長いこと出席していないと、億劫になるのは誰しも共通なのである。出席のきっかけを作ってみたいと考えた。

長野の戸隠の旅を企画した。乙女心をゆさぶる魅力の存在があったからだ。神々しさ、新緑、清水のせせらぎ、水芭蕉、空にはゆったりと雲が流れる、そこには「未来」がある！これだけではない、宿がいい。歌声ロジック「アコールデー」とその主人。一人で全てを切り盛りしている。その上、戸隠の案内人であり、アコーデイオン奏者でもある。

夕食後、小ホールに宿泊者が集う。我々が

生意気にも今、地球温暖化で世界が危ないと憂慮したり、世界に多くいるストリートチルドレンのふびんな子ども達に何か些細な事でも働きかけが出来ないか。奉仕の会に所属している一人として細やかな活動をさせてもらっています。それと共に心を通わす友人が又出て来て語り合ったり温泉を楽しんだりしています。それも源泉百パーセント掛流し等、行く前のパソコン検索で夢を馳せ楽しみも倍増します。パソコン操作も頭の回転が鈍くなり何時までたっても行きつ戻りつです。

今、私の机の上には「もう少し頑張ろうと思つた時には松井秀喜を思い出そう」が添えられた秀喜さんの写真があります。巨人当時は東京ドームで我を忘れて応援し翌朝、手の平が紫色になっていたことも何度もありました。体は老いてきて心は乙女、周囲の温かさの中で、明るく輝く日々を目指します。

「学生時代」をリクエスとする。伴奏が部屋いっぱいひびく。しかし、声がない。目に涙を浮かべ両頬を伝わる。学生時代が走馬燈のごとく脳裡を駆けめぐり高揚する。

翌日も快晴、宿の主人の先導で乙女達も続く。秘境の地といわれる細い山道を登る。足元には水芭蕉群や、愛らしいカタクリの花。急に視界がひろがる！間近に大きな岩肌がそそり立つ。これが戸隠なのだ！山に向かっ



あつという間の37年間

食物学科 (短大十四回卒)

青木慧子



社会福祉施設で6年、病院で31年、この春、定年を迎え、栄養士の仕事を終えることになりました。白いエプロン、長靴、帽子をかぶり、厨房を走りまわっていた頃が昨日のことのようです。患者数と発注数が合っているから、献立通りに出来ているから、お皿はどれにしよう・・・それはそれで夢中になって働いていました。

みなさん お元気ですか

能「田村」の初舞台とすばらしい二つの出会い

国文学科 (短大十回卒)

柴田美恵子

平成十五年五月三十一日、この日は私にとって記念すべき大イベントの日でした。能舞台で初めて「田村」のシテを演じたのです。前シテは童子、後シテは威風堂々たる武将、坂上田村丸。千手観音の助勢によって鈴鹿山の賊を討伐するという勝修羅の軍物。能面と能装束を付け、笛や鼓、太鼓、謡や後見などプロの演者に囲まれてひのき舞台に立ったのは、二十数年続けてきた能楽の集大成だったと言ってもいいかもしれません。

そして、もっとすばらしいのは、この演能を通して二つの出会いがあったことです。一つは、「柴田さん、能をやってみませんか」と声を掛けてくださった辰巳満次郎先生との出会いです。東京から月に一度お稽古に来てくださる辰巳先生との出会いから九年。それまで教



チーム、それらを包括するNST(栄養サポーターチーム)のメンバーとして、院内のあらゆる分野で必要とされています。病棟をラウンドしながら患者さんの身体評価をし、適切な栄養療法を探るなど、試行錯誤を続けています。大変やりがいのある職場になってきたといえます。もちろん食事の提供も昔と変わらず大切な業務です。病態に合わせた献立のみならず、嗜好を加味した対応、温冷、盛り付けなど、喜ばれる病院食を心がけました。最近高いレベルの教育を受けた学生さんが多く、頼もしい限りです。老兵は去るのみ、です。

病院には「メタボリックシンドローム」という危険性の高い生活習慣病の患者さんが数多く見受けられます。かくいう私も加齢、ストレスから血圧上昇中。栄養指導は自分への戒めでもあります。これからは我が家の栄養士。何よりも自身の健康を管理し、退職後の人生を思い切り楽しみたいと考えております。

師の仕事を優先して、稽古をなさりにしてきた私は、この出会いによって一変しました。無形文化財保持者の室生流シテ方で、しかもまだお若い先生の迫力ある稽古と先生の舞台に魅了され、能の幽玄美にとりつかれていきました。

もう一つは、静岡女子短大時代の同級生たちが横浜や静岡、岐阜、愛知から遙々名古屋まで私の能を観に来てくださったことです。国文学科十回「あかね会」は、毎年一、二泊旅行を楽しんでいます。この日はみんなで私の能を盛り上げてくれました。そして「能のあと名古屋名物のひつまぶしを味わいながら同級会もできたのよ。」と言ってく

さつたので、遠くから来ていた、だいたいで恐縮していた私も少し気が楽になりました。

あの感動から二年半、今はもう一度能をやってみたい、気力と体力との闘いではあるけれど、という思いでいっぱいです。

総会報告

平成十七年度、おおとり会総会が、平成十七年六月五日、県立大の小講堂で、一五七名の参加を得て開かれました。

― 講演より ―

静岡県立大学国際関係学部 教授

伊豆見 元氏

「最近の朝鮮半島情勢と日本」

北朝鮮問題に詳しい伊豆見教授の講演なので、近年にない出席者が得られた。それだけ、北朝鮮問題に関心が高いのだろう。何故、日本人を含む外国人が拉致されたのか。北朝鮮は、当時の韓国の情報を得るために、スパイを送り込んだのだ。当時韓国は外国人に甘く、それを利用して。二〇〇五年という年は、日本が朝鮮を植民地化して一〇〇〇年（朝鮮にとっては亡国の年から一〇〇〇年）、竹島が島根県に編入されて一〇〇〇年、韓国が実行支配して四〇〇年という、数々の節目にあたったので、反日デモが激化したと云う。歴史の認識不足を痛感させられた。韓国では、大統領が「反日」をアピールすると、国民の支持率が上がるということ等、隣国に対する沢山の知識を得ることができた。

伊豆見先生が、県立大の教授として、度々テレビに出演されることは、私達同窓生にとり誇りです。教授の更なるご活躍を祈念していただきます。



平成16年度収支決算

自 平成16年4月1日
至 平成17年3月31日

収入の部		支出の部			備 考
費 目	16年度決算	費 目	16年度予算	16年度決算	
受け取り利息	31,290円	会 議 費	80,000円	67,015円	役員会・理事会・当番幹事会・編集会議
基金入金	910,000	印 刷 費	200,000	165,150	おおとり会だより・総会案内状・その他コピー代
剣祭バザー収益金	54,100	通 信 費	400,000	409,400	総会案内発送4,300×90=387,000
総会剰余金	8,847	慶 弔 費	50,000	5,000	お見舞い
		事務・雑貨品費	30,000	16,862	剣祭テント代・事務用品
		予 備 費	240,000	0	
小 計	1,004,237	小 計	1,000,000	663,427	
前年度より繰越	13,073,660	次年度への繰越		13,414,470	
総 計	14,077,897	総 計		14,077,897	

(繰越金 内訳)	定額郵貯	4,975,192円	テレホンカード	4,620円
	通常郵貯	4,524,771	書 籍	138,000
	公社債	3,641,004	現 金	130,883
			合 計	13,414,470円

上記のとおり相違ありません。

平成17年4月16日

会計 大石紀子・近藤和恵 会計監査 河合眞知・濱尾朋子

平成17年度予算(案)

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

費 目	予 算	備 考
会 議 費	80,000円	役員会・理事会・当番幹事会・編集会議
印 刷 費	200,000	おおとり会だより・総会案内状・資料コピー
通 信 費	400,000	総会案内状発送
慶 弔 費	50,000	
事務・雑貨品費	30,000	
事 業 費	120,000	総会・剣祭
予 備 費	120,000	
合 計	1,000,000	

「声を届けて」

平成17年度市政功労賞受賞

英文学科(短大十五回卒)

水越民子さん



静岡市立中央図書館で、音訳ボランティア「ひびきの会」の一員として21年余り活動してきました。昨秋、静岡市から市政功労団体として表彰され、「母さんの道楽」がちよっとは日の目をみたかなと思っています。全国のお

おとり会員の中にも朗読や録音に活躍されている方がたくさんおられることでしょう。視覚障害者や高齢者の読書のお手伝いとして、本や雑誌、広報紙などを録音する仕事ですが、声優さんみたいにかっこいい仕事かと思いきや、細心の注意と長時間の根気を必要とする単調で地味な作業です。「あなたの声を楽しみ」という利用者の声に励まされ(乗せられて?)子育てや介護の時期も続けてきました。思えば、障害者のためというより、私自身がこの仕事に支えられてきました。

剣祭バザー収益金

平成十七年十月三十日(日)、恒例の剣祭が、県立大学で行われました。今回も多数の方に模擬店のお手伝い及び出品に協力いただきまして、売上総額も例年より大幅にアップいたしました。心からお礼申し上げます。

剣祭バザー収益金

八一、七五〇円

同窓会費に入れさせて頂きます。

『草薙の丘』の会

●二〇〇五・五・二十九(日)

第15回 草薙の丘の集い

ホテル京阪京都にて

旧英文科 小泉保先生の講演

『小学校の英語教育』を拝聴

編集委員

原 都子・森 恵美
佐藤容子・石田加苗